

ループコードタイプ ご使用上の注意事項

ループコードタイプの場合、操作コードを回すことによって、スクリーン内のコードが上部レール内に巻き取られ、ブラインドを上げ下げすることができる構造となっております。

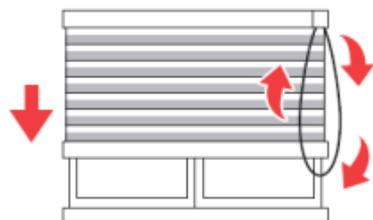
畳んであるブラインドの操作部を一定方向に回し、ブラインドを下ろしきった状態にした際に、上部レール内の巻かれていたコードが全て伸びきった状態にはなりません。(状態②)

そのまま同じ方向に回し続けると緩んだ状態でコードが巻かれるため(状態③)、コードがスプールよりはずれてしまったり(状態④⑤)、ブラインドが傾いたりし(状態⑥)、修復出来なくなります。場合によっては、滑車から異音が発生することや、操作コードが重く滑車を回すことが出来なくなります。

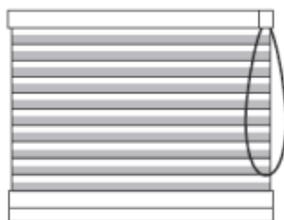
《ご使用上のご注意》

下げきったブラインドを上げる場合は、下げた場合とは必ず逆回転で操作してください。ブラインドを下げきった状態からさらに同じ方向に操作コードを回してしまうと故障の原因となりますのでご注意くださいようお願い致します。

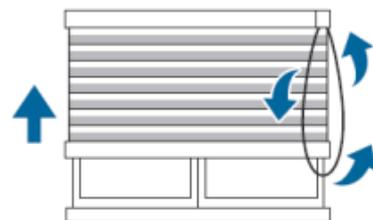
<p>① 閉じた状態</p> 	<p>② 下ろしきった状態</p> 	<p>③ 更に操作コードを回した場合、巻かれているコードが緩みます。</p> 
<p>④ 一方方向に回し続けてしまった場合にコードが脱落する恐れがあります。</p> 	<p>⑤ 修復不可能な状態 この状態になってしまうと現場での修復は不可能となります。</p> 	<p>⑥ 不具合時の写真</p> 



下げる場合
上げる場合と逆方向に
操作してください。



下ろしきった状態



上げる場合
下げる場合と逆方向に
操作してください。